

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2001-247729(P2001-247729A)

【公開日】平成13年9月11日(2001.9.11)

【出願番号】特願2000-387995(P2000-387995)

【国際特許分類】

C 08 L	23/10	(2006.01)
B 29 C	55/12	(2006.01)
C 08 J	5/00	(2006.01)
D 01 F	6/46	(2006.01)
B 29 K	23/00	(2006.01)
B 29 L	7/00	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/10	
B 29 C	55/12	
C 08 J	5/00	C E S
D 01 F	6/46	D
B 29 K	23:00	
B 29 L	7:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月10日(2007.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロピレン、エチレン及び/又はC₄～C₁₈-1-アルケンを重合することにより製造される、2軸配向フィルムを形成するために好適な半結晶性プロピレン重合体組成物であって、少なくとも50モル%のモノマー単位が、プロピレンの重合に由来し、且つ135～165の融点T_Mを有し、上記融点が、ISO 3146に準じて示差走査熱量計(DSC)により、予め融解した試験材料を20／分の加熱速度で加熱することによって測定され、またこの融点の測定はを単位として行われ、且つこの融点が得られた曲線の極大値に相当するものであり、上記半結晶性プロピレン重合体組成物は、40～85質量%の基本成分A、0～55質量%の補助成分B及び0～55質量%の補助成分Cに分解することができ、上記成分A、B及びCの割合が、TREF(温度上昇溶出分別)を行うことにより測定され、このTREFでは、重合体をまず沸騰キシレンに溶解し、その溶液をその後10／分の冷却速度で25まで冷却し、次いで温度を上昇させて、キシレンに(T_M/2)+7.5で溶解するプロピレン重合体の画分を溶解して、残留固体と分離し、その後温度を上昇させて、より高い温度である70、75、80、85、90、94、98、102、107、112、117、122及び125

の全てにおいて、この溶出温度と前述の溶出温度との間の温度範囲内で溶解する画分を溶出し、そして、続く評価で考慮される画分は、質量分率がプロピレン重合体組成物試験材料の初期質量の少なくとも1質量%に相当するものであり、そして145での1,2,4-トリクロロベンゼン中におけるゲル・パミエーション・クロマトグラフィ(GPC)が、考慮すべき全ての画分のモル質量分布の測定に使用され、さらに基本成分Aが

、 $(T_M / 2) + 7.5$ を超える温度で溶出する画分の全てで形成され、且つ 1200
00 g / モル以上 の平均モル質量 M_n (数平均) を有し、補助成分 B が、 $(T_M / 2) + 7$
.5 で溶出する画分で形成され、そして補助成分 C が、 $(T_M / 2) + 7.5$ を超え
る温度で溶出する画分の全てで形成され、且つ 120000 g / モル未満 の平均モル質量
 M_n (数平均) を有し、そして基本成分 A を形成する画分の少なくとも 1 個の、重合体の
重量平均モル質量 (M_w) と数平均モル質量 (M_n) との比 (M_w / M_n) が 4.5 を超える
ことを特徴とする半結晶性プロピレン重合体組成物。

【請求項 2】

55 ~ 75 質量 % の基本成分 A、5 ~ 20 質量 % の補助成分 B 及び 10 ~ 35 質量 % の
補助成分 C に分解することができる請求項 1 又は 2 に記載の半結晶性プロピレン重合体組
成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の半結晶性プロピレン重合体組成物を含むフィルム、繊維又は成形体。